

# 神戸昇天教会月報

☎652-0015 神戸市兵庫区下祇園町39番7号 神戸昇天教会  
 牧師 小南 晃 電話 (078) 341-4490  
 FAX (078) 341-4539  
<http://nssk-kobeshoten.org/> 口座振替 01110-2-10517

### 今年の標語

「来てみませんか」と誘える教会を目指そう。

### 努力目標

- 礼拝出席に努めよう。
- み言葉を分かち合おう。
- 地域との交流促進。

### 聖語

いつも喜んでいなさい。  
 絶えず祈りなさい。  
 どんなことにも感謝しなさい。  
 (1テサロニケ 5:16-18)

## 霊操に参加して ～み言葉を食べる～

人の子よ、目の前にあるものを食べなさい。この巻物を食べ、行ってイスラエルの家に語りなさい。(エゼキエル書 3:1)

司祭 ミカエル 小南 晃

9月25日(火)～10月3日(水)、広島市の長束黙想の家(イエズス会聖ヨハネ修道院・西日本霊性センター)にて行われた「霊操」に参加させて頂きました。

「霊操」とは余り聞きなれない言葉ですが、内容は黙想会です。その名称には身体を整える訓練として体操があるように、霊魂を整える訓練という意味が込められています。イエズス会の創始者である聖イグナチウス・ロヨラが自分自身の心や魂の動きを深く見つめながら体系的に整えた黙想方法です。

本来は30日間のプログラムですが、それを8日間にしたものを受けさせて頂きました。

この度は主日を挟んで9日間教会を留守にいたしました。このような参加の機会を与えて頂いたことを心から感謝いたします。

### み言葉を食べる

黙想指導は清水 弘神父という方がして下さいました。今は黙想指導者と言わず、同伴者と言うそうです。

その開始にあたってのオリエンテーションで神父様が語られたこ

とが、表題にある「み言葉を食べる」ということでした。

「み言葉を食べる」という言葉は聖書の中にはありません。あるのは冒頭のエゼキエル書の「巻物(聖書)を食べなさい」です。同様の表現はエレミヤ書やヨハネ黙示録にも出て参ります。字面通り見るなら、当時の巻物は羊皮紙かパピルスで出来ていたでしょうからクシャクシャしてとても食べられたものではないでしょう。

そういうことではなく、そこに記されたみ言葉をしっかり読み、味わう時にこそ、神の御心が見えてくる、そしてそれは本来蜜のように甘いということではないでしょうか。

「巻物を食べる」から「み言葉を食べる」へのイメージの膨らみが既に「み言葉を食べる」ことの実例かも知れません。霊操では黙想同伴者の講話を「いいお話でした」と聞くのではなく、テーマに沿って聖書箇所が示され、その御言葉を食べ物をよく噛んで味わうように、自分で思い巡らし、反芻し、消化する。そして御言葉のイメージが膨らんでいく中で気づくことを大切にするように、こ

とにイエスが教えを語ったり、癒しの奇跡をなさる場面では、自分もそうした場に居合わせるかのように情景を思い浮かべることがよいでしょうとのことでした。

### 極めてよかった

霊操は30日間でも8日間でも4つのテーマを順にたどる形で進められて行きます。清水神父様は「1. 罪の究明、2. イエスの公生涯、3. 十字架、4. 復活」と説明されました。二日目、創世記1章1節以下が読まれ、その31節に「見よ、それは極めてよかった」の言葉が示されました。しばらくその言葉を頭の中で思い巡らしながら、近くの川沿いの道を歩いていますと、赤く咲いた彼岸花、黄色いコスモス、つる草に咲いた直径1センチぐらいの赤い花、その白い花の種類もあると次々にきれいな花に気づきました。

私は「花を愛でるタイプ」などではないのに、そのような自分に少し驚きました。霊操の効果かどうかは分かりませんが、少しはみ言葉に敏感になっているのかも知れないと思った次第です。またこの度の霊操で他にも少し気付いたことなど大切にしようと思います。

そしてみ言葉を食べるように味わうこと、またみ言葉についてゆっくり思い巡らし、イメージを膨らませること、これは誰でもが、どこでも、自分一人で静かに出来ることです。皆様もぜひ「み言葉を食べる」ことに努めて頂ければと思います。

### 定例集会

日 午前7時 早朝聖餐式  
 " 9時15分 教会学校  
 " 10時30分 聖餐式・説教  
 午後5時 夕の礼拝

水 午前10時30分 聖書研究会  
 土 午前10時30分 教会掃除  
 (ご奉仕をお願いします)